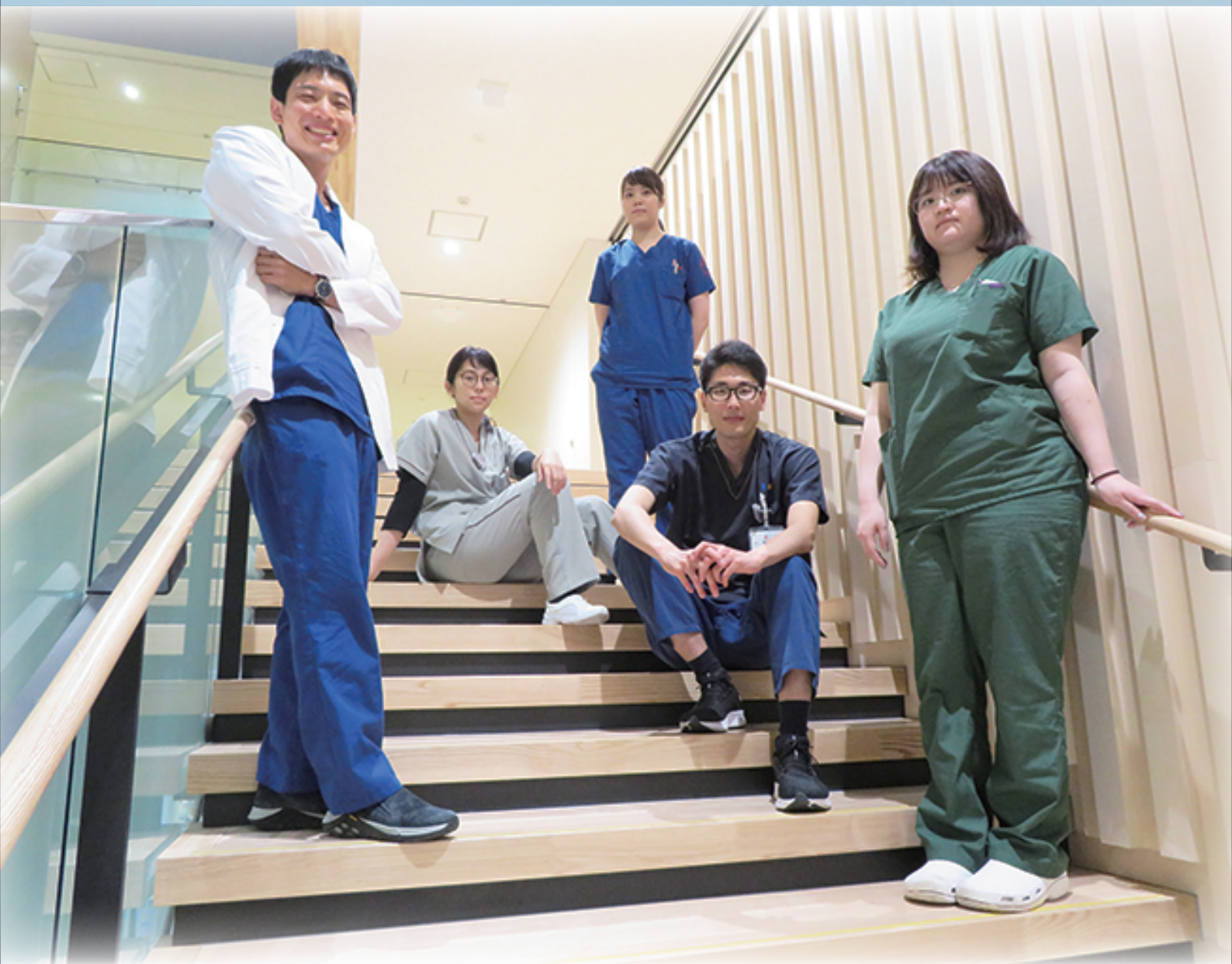


2022年度

北海道公立大学法人

札幌医科大学附属病院 臨床研修医募集案内



C O N T E N T S

- 1 札幌医科大学附属病院プログラム
3つのポイント
- 2 ご挨拶
- 3 2022 年度 臨床研修プログラム
- 4 研修コースとモデルプラン
- 5 協力型研修病院
- 6 研修協力施設
- 7 札幌医科大学附属病院概要・診療科／部
- 8 研修環境
- 9 福利・厚生・処遇
- 10 研修医からのメッセージ
- 11 専門研修・後期研修
- 13 臨床研修に関する Q&A
- 14 2022 年度 臨床研修医募集要項
- 15 アクセス



札幌医科大学附属病院プログラム 3つのポイント

Point 1 専門医取得へのシームレスな研修

専門研修プログラムを持つ大学病院だからこそ、初期研修からシームレスに専門医を取得できます。無制限のローテーション変更と最長 48 週の自由選択からなる自由度の高さが、個別のキャリア形成に最適な研修を可能にします。

Point 2 プライマリ・ケアから高度先進医療まであらゆる医療を経験できる研修施設群

地域に密着した小規模病院、多数の common disease を経験できる地域センター病院、多くの指導医のもとで専門性の高い疾患を勉強できる大学病院、約 90 の施設からなる多様な臨床研修施設群であらゆる医療を研修できます。北海道で唯一の高度救命救急センターでは、救急医療から全身管理まで研修医のニーズに合わせた指導を受けられます。

Point 3 ハードもソフトも充実した研修環境

各診療科のエキスパートによる研修医セミナー、多数のシミュレータによるハンズオンセミナー、研修医が主催するレジデント勉強会など、現場以外でも学べる機会がたくさんあります。研修医専用でリラックスできる研修医室には、電子カルテと WiFi も整備されています。また大学のシミュレーションセンターと図書館は 24 時間利用でき、電子コンテンツも豊富にあるので、充実した研修環境でスキルアップを図れます。

ご挨拶



札幌医科大学附属病院長

土橋 和文

「さらなる飛翔をともに」

札幌医科大学附属病院は“道都”札幌中心にある公立医系総合大学の附属施設です。自由闊達な変革と門戸の開放の精神は開学以来の伝統です。

医療は立ち止まっていません。生涯学習：「25歳まで臨床を鍛え、40歳まで研究を行い、60歳まで現役（ウィリアム・オスラー）」は必然です。初期および後期研修は、医療系の生涯教育の中で“事の外”貴重な時間です。

多くの実戦経験と技術を踏む必要があります。同時に未決事案への突破力を培う必要があります。医療者としての思考と問題解決・意思疎通の能力等をノンテクニカル・スキル、“立ち振る舞い”の基本姿勢の形成、ロール・モデルとの出会いが、殊に重要となります。

附属病院・教育関連施設など皆さんに関わる教育力は、間違いなく全国屈指です。また、多彩な協力型病院との連携と自由度の高いプログラム設定、プライマリ・ケアの重視と地域およびチーム医療参画、他にない高度救命救急施設、先進的な橋渡し研究の実施など、初期～後期研修および専門医・大学院博士課程、国内外の留学、生涯教育をシームレスに利用できるのが特色です。得られる先輩・同僚・後輩等の医療人のネットワークは、唯一無二のものとなります。

当院では今後数年で旧病棟の再編がなされます。新四半世紀への挑戦に共に生きる未来医療の扉を開きましょう！



臨床研修・医師キャリア支援センター長

辻 喜久

「こんにちは!!」

センター長の辻と言います。Covid-19による大きな社会変革の真ただ中にこの要職についたことの責任の重さを痛感しています。

Post-Covidとも言うべきパラダイムシフトが生じ、私たちも変わらなければ次の時代を乗り越えることができないと思います。一方で、どのような時代の流れの中でも変わらない大切なことがあります。

The best interest of the patient is the only interest to be considered

「患者さんの利益こそが、我々の唯一の関心事である」とでも訳しましょうか、、、米国の病院ランキング1位に掲げられている有名な言葉です。しっかりと患者さんに貢献し、皆さんにとっても、皆さんの家族にとってもHappyとなるような、そうした研修環境を目指したいと思います。

具体的な研修の特色として、札幌医科大学のプログラムの3つのポイントをぜひご確認いただきたいのですが、それ以外にも以下のようなことも予定しています。

- 海外有名医師を招聘し、世界レベルのワークショップやレクチャー
- 学内新進気鋭の医師による、エコーなどの医療スキル向上のためのハンズオンセミナー
- 英語医療セミナー
- 北海道の地域性を最大限生かした地域医療研修などなどです。札幌医科大学は新たな取り組みを進めている最中ですから、もしかするともっと魅力的な何かが準備できているかもしれません。もしよければ一度、説明会などにご参加ください。

皆さんとお話できる日を楽しみにしています。

2022年度 臨床研修プログラム

○ 標準プログラム

1年次・2年次																																																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
内科 24週以上 4週以上を1単位として2科以上																	救急 8週以上								3次救急 (または集中治療) 4週以上				外科 4週以上				小児科 4週以上				産婦人科 4週以上				精神科 4週以上										

1年次・2年次																																																	2年次		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
自由選択 4週以上を1単位																																														地域医療 4週以上 一般外来 4週					

○ 産婦人科プログラム・小児科プログラム

1年次・2年次																																																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
内科 24週以上 4週以上を1単位として2科以上																	救急 8週以上								3次救急 (または集中治療) 4週以上				外科 4週以上				小児科 4週以上				産婦人科 4週以上				精神科 4週以上										

1年次・2年次																																																	2年次		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
産婦人科(産婦人科プログラム)／小児科(小児科プログラム) 必修分野の研修期間以外																																														地域医療 4週以上 一般外来 4週					

必修

- ・内科、救急、3次救急、外科、小児科、産婦人科、精神科、地域医療とします。
- ・地域医療のみ2年次に研修しますが、他は年次指定はありません。
- ・3次救急または集中治療では重症患者における急性期の循環および呼吸管理法を4週以上研修します。

札幌医科大学 附属病院での 研修

- ・内科：消化器内科、免疫・リウマチ内科、循環器・腎臓・代謝内分泌内科、呼吸器・アレルギー内科、腫瘍内科、血液内科、脳神経内科、総合診療科から1科4週以上で2科以上を選択します。各科においては8週以上の研修を推奨します。
- ・救急：麻酔科研修を4週まで選択可能です。
- ・外科：消化器・総合、乳腺・内分泌外科、心臓血管外科、呼吸器外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、泌尿器科、眼科、皮膚科、耳鼻咽喉科から選択します。
- ・一般外来：総合診療科または地域医療研修で研修します。
- ・地域医療：地域医療研修施設から選択します。
- ・自由選択：全診療科・部門から選択します。

協力型研修病院 での研修

- ・研修先病院のプログラムに従います。



研修コースとモデルプラン

AコースとBコースは大学病院と市中病院の両方で1年ずつ研修する「たすきがけ」です。
Cコースは大学病院で2年間研修しますが、市中病院での短期研修もできます。
大学病院で研修中は、プログラムに定められている範囲内であれば、
希望する時期に希望する診療科で研修でき、ローテーションは何度でも変更可能です。

Aコース 1年次 大学病院 + 2年次 市中病院 例：内科専門医から消化器内科を目指す場合

1年次 札幌医科大学附属病院																																																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
必修(内科) 脳神経内科								必修(内科) 血液内科								必修(救急) 高度救命救急センター								必修(救急) 麻酔科				必修 神経精神科				必修(内科) 消化器内科								必修(外科) 消化器・総合、 乳癌・内分泌科				自由選択 呼吸器・アレルギー内科							

専門研修プログラムへ応募

2年次 協力型臨床研修病院																																																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
自由選択 循環器内科								必修 小児科				必修 産婦人科				2年次必修 地域医療 一般外来				自由選択 決めた消化器内科																															

内科専門医の取得へ向けて志望科以外の内科をローテーションし、2年次後半は一旦早く志望科で研修をスタートします。
しかも大学病院と市中病院のたすきがけなら、ウォークインから3次まですべての救急研修ができます。

Bコース 1年次 市中病院 + 2年次 大学病院 例：外科系専門医を目指す場合

1年次 協力型臨床研修病院																																																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
必修(内科) 消化器内科								必修(内科) 循環器内科								必修(内科) 呼吸器内科								必修(救急) 救急								必修 精神科				必修 小児科				必修 産婦人科				必修 外科							

専門研修プログラムへ応募

2年次 札幌医科大学附属病院																																																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
自由選択 心臓血管外科								自由選択 呼吸器外科								2年次必修 地域医療 一般外来				必修 高度救命 救急センター				外科系サブスペシャリティ診療科																											

2年次に診療科がそろっている大学病院で研修すれば、迷っている志望科をローテーションしてから進路を決められます。
何度でもローテーションを変更できるのは札幌医科大学附属病院ならではのです。

Cコース 大学病院 + 市中病院での短期研修 例：眼科・病理・放射線科・リハビリで迷った場合

1年次 札幌医科大学附属病院																(研修協力施設)																札幌医科大学附属病院																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
必修(内科) 循環器・腎臓・ 代謝内分泌内科								必修(内科) 呼吸器・アレルギー内科								必修(救急) ICU				必修(救急) 救急				必修 産婦人科				必修 小児科				必修(外科) 泌尿器科				自由選択 眼科				自由選択 病理部											

専門研修プログラムへ応募

2年次 札幌医科大学附属病院																(協力型研修病院)																札幌医科大学附属病院																			
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52
自由選択 放射線 治療科				自由選択 放射線 診断科				自由選択 リハビリテーション科								2年次必修 地域医療 一般外来				必修 神経精神科				必修(内科) 消化器内科				自由選択 決めた診療科																							

1年次から自由選択も研修できるので、2年次に専門研修へ応募するまでにすべての志望科をローテーションできます。
年間12週まで協力型研修病院や研修協力施設で研修できます。

協力型研修病院

協力型研修病院(たすきがけ病院)における研修は、札幌医科大学附属病院卒後臨床研修プログラムに基づき、各病院の研修計画により実施します。

Aコース・Bコースは協力型研修病院で1年間研修します。

Cコースは協力型研修病院・研修協力施設で年間12週までの短期研修が可能です。

道央

所在地	病院名	一般病床数	診療科数	プログラム		
				標準	産婦人科	小児科
札幌市	市立札幌病院	626床	33科	●	-	-
札幌市	J R 札幌病院	312床	21科	●	B	-
札幌市	国家公務員共済組合連合会 斗南病院	283床	27科	●	●	-
札幌市	NTT東日本札幌病院	301床	19科	●	●	-
札幌市	天使病院	260床	20科	●	●	●
札幌市	東札幌病院	243床	14科	A	-	-
札幌市	国立病院機構 北海道がんセンター	430床	26科	●	-	-
札幌市	JCHO 北海道病院	312床	24科	●	●	●
札幌市	KKR札幌医療センター	410床	37科	●	●	●
札幌市	国立病院機構 北海道医療センター	582床	32科	B	-	B
札幌市	札幌徳洲会病院	301床	29科	●	●	B
札幌市	JCHO 札幌北辰病院	276床	23科	●	-	-
札幌市	札幌禎心会病院	279床	9科	A	-	-
江別市	江別市立病院	278床	22科	A	-	-
千歳市	市立千歳市民病院	190床	13科	●	-	●
岩見沢市	岩見沢市立総合病院	365床	15科	●	●	●
砂川市	砂川市立病院	408床	28科	●	-	-
赤平市	あかびら市立病院	60床	12科	B	-	-
滝川市	滝川市立病院	270床	13科	●	-	●
小樽市	北海道社会事業協会 小樽病院	240床	12科	●	●	-
小樽市	北海道済生会小樽病院	378床	15科	●	-	-
小樽市	小樽市立病院	302床	25科	●	-	-
小樽市	小樽掖済会病院	138床	10科	A	-	-
室蘭市	日鋼記念病院	387床	26科	●	●	-
室蘭市	市立室蘭総合病院	401床	26科	●	-	-
室蘭市	製鉄記念室蘭病院	347床	23科	●	●	-
苫小牧市	苫小牧市立病院	378床	23科	●	-	-
苫小牧市	王子総合病院	440床	23科	●	A	A
伊達市	伊達赤十字病院	270床	17科	●	●	-
倶知安町	JA北海道厚生連 倶知安厚生病院	172床	15科	A	-	-

A…Aコースのみ
B…Bコースのみ

道南

所在地	病院名	一般病床数	診療科数	プログラム		
				標準	産婦人科	小児科
函館市	函館五稜郭病院	480床	27科	●	●	●
函館市	市立函館病院	582床	30科	●	●	A
函館市	函館新都市病院	155床	10科	A	-	-
江差町	北海道立江差病院	146床	17科	A	-	-

道北

所在地	病院名	一般病床数	診療科数	プログラム		
				標準	産婦人科	小児科
旭川市	J A 北海道厚生連 旭川厚生病院	539床	21科	●	-	-
旭川市	旭川赤十字病院	480床	28科	●	-	-
旭川市	市立旭川病院	372床	24科	●	●	-
留萌市	留萌市立病院	246床	19科	●	●	●

オホーツク

所在地	病院名	一般病床数	診療科数	プログラム		
				標準	産婦人科	小児科
北見市	北見赤十字病院	490床	25科	●	●	●
紋別市	広域紋別病院	148床	17科	A	-	A

十勝

所在地	病院名	一般病床数	診療科数	プログラム		
				標準	産婦人科	小児科
帯広市	北海道社会事業協会 帯広病院	300床	15科	●	●	●
帯広市	J A 北海道厚生連 帯広厚生病院	600床	24科	●	-	-
帯広市	北斗病院	217床	29科	●	-	-

釧路・根室

所在地	病院名	一般病床数	診療科数	プログラム		
				標準	産婦人科	小児科
釧路市	市立釧路総合病院	535床	30科	●	●	●
釧路市	釧路赤十字病院	431床	20科	●	-	-
釧路市	釧路孝仁会記念病院	235床	16科	●	-	-
根室市	市立根室病院	131床	18科	A	-	-

研修協力施設

内科研修施設

札幌南一条病院（札幌市）（循環器・腎臓・代謝内分泌内科）
 函館赤十字病院（函館市）（腫瘍内科・血液内科）
 松前町立松前病院（松前町）（総合診療科）

救急研修施設

手稲溪仁会病院（札幌市）
 勤医協中央病院（札幌市）

外科研修施設

北海道立子ども総合医療・療育センター（札幌市）
 （消化器・総合、乳腺・内分泌外科）
 勤医協中央病院（札幌市）（消化器・総合、乳腺・内分泌外科）
 北海道立北見病院（北見市）（心臓血管外科）

産婦人科研修施設

札幌産科婦人科（札幌市）
 札幌東豊病院（札幌市）
 北海道立子ども総合医療・療育センター（札幌市）

小児科研修施設

北海道立子ども総合医療・療育センター（札幌市）

精神科研修施設

旭山病院（札幌市）
 五稜会病院（札幌市）
 中江病院（札幌市）
 ミネルバ病院（伊達市）

整形外科研修施設

北海道立子ども総合医療・療育センター（札幌市）

脳神経外科研修施設

札幌白石記念病院（札幌市）
 北海道立子ども総合医療・療育センター（札幌市）
 新さっぽろ脳神経外科病院（札幌市）

眼科研修施設

札幌東徳洲会病院（札幌市）

保健・医療行政研修施設

北海道赤十字血液センター（札幌市）

地域医療研修施設

26 施設での研修【必修】

▶ 一般外来および在宅診療の両方の研修を実施

道 央

静明館診療所（札幌市）
 西岡病院（札幌市）
 栄町ファミリークリニック（札幌市）
 向陽台ファミリークリニック（千歳市）
 北海道済生会小樽病院（小樽市）
 寿都町立寿都診療所（寿都町）
 JA北海道厚生連倶知安厚生病院（倶知安町）
 本輪西ファミリークリニック（室蘭市）
 若草ファミリークリニック（登別市）
 むかわ町国民健康保険穂別診療所（むかわ町）
 日高徳洲会病院（新ひだか町）

道 南

松前町立松前病院（松前町）
 奥尻町国民健康保険病院（奥尻町）
 八雲総合病院（八雲町）

道 北

くにもと病院（旭川市）
 北星ファミリークリニック（旭川市）
 国民健康保険上川医療センター（上川町）
 北海道立羽幌病院（羽幌町）
 枝幸町国民健康保険病院（枝幸町）
 利尻島国保中央病院（利尻町）

オホーツク

広域紋別病院（紋別市）

道 東

更別村国民健康保険診療所（更別村）
 市立根室病院（根室市）
 町立別海病院（別海町）

道 外

那智勝浦町立温泉病院（和歌山県那智勝浦町）
 高野町立高野山総合診療所（和歌山県高野町）

10 施設での研修【選択】

▶ 一般外来研修のみ実施

道 央

札幌南一条病院（札幌市）
 札幌道都病院（札幌市）
 JCHO 登別病院（登別市）
 白老町立国民健康保険病院（白老町）

道 南

函館新都市病院（函館市）
 北海道立江差病院（江差町）

道 北

留萌市立病院（留萌市）

道 東

釧路赤十字病院（釧路市）
 町立厚岸病院（厚岸町）
 町立中標津病院（中標津町）

※実績のある主な病院を掲載しています。



札幌医科大学附属病院 概要・診療科/部

病床数：932床（一般病床890床、精神病床：42床）
 入院延患者数：200,330人
 新規入院患者数：17,703人 1日平均患者数：548.8人
 外来延患者数：356,845人
 新規外来患者数：20,289人 1日平均患者数：1,468.5人
 手術件数：6,570件 1日平均手術件数：27.0件
 （2020年度実績）

高度救命救急センター

重症救急患者の初期治療やICU管理を学ぶことができます。医師として必要な救急蘇生や入院患者の全身管理に強くなります。ドクターカーへの同乗も経験できます。

集中治療部

専従医が24時間体制で管理するclosed ICUで重症患者の診かたを学び、循環・呼吸管理、急性血液浄化療法、栄養療法、急変時対応など、急性期・周術期の全身管理を基礎からマスターできます。

消化器内科

消化管・肝臓・胆膵領域のすべての良性疾患・悪性疾患を含む豊富な症例と、専門医による丁寧な指導を通じて、全身を総合的に診察できる内科医を育成します。

免疫・リウマチ内科

膠原病・リウマチ性疾患の診断・治療を通して全身を幅広く学べます。特に、新しい疾患概念であるIgG4関連疾患の診療に力を入れており、症例数は北海道内随一です。

循環器・腎臓・代謝内分泌内科

「循環器」「腎臓病」「生活習慣病」という密接に関連する疾患群を体系的に研修することにより有機的に幅広い内科疾患を経験でき、内科専門医取得にも有利です。

呼吸器・アレルギー内科

呼吸器領域を中心として、がん、感染症、アレルギー疾患に関する専門的知識・技術を身につけられます。北海道は呼吸器内科医が不足しています。是非、一緒に仕事しましょう。

腫瘍内科

消化器腫瘍（消化管・肝胆膵）骨軟部・原発不明腫瘍など広い分野の研修が可能です。化学療法、免疫療法、内視鏡治療やIVRを経験し、癌診療の専門医を目指しましょう。

血液内科

貧血・凝固異常症への対応、血液悪性疾患に対する分子標的治療から、造血幹細胞移植まで幅広い専門的知識を学べます。血液専門医・移植専門医を目指しましょう。

脳神経内科

神経所見と病歴から診断する「ワザ」を見せます。多彩な神経疾患に対処する「コツ」は実際に経験をしないとわかりません。豊富な症例と丁寧な指導があなたを待っています！

総合診療科

他院の初期研修ではまずできない外来研修をしてみませんか。患者さんの話から危険性を判断し、診断・治療戦略を組み立てます。内科的知識を症候から整理したい方もどうぞ。

神経精神科

精神科医療を幅広く学ぶことができます。精神科リエゾンやサイコオンコロジーにも力を入れています。研修医に診療を委ね手厚く指導します。

産婦人科

産婦人科診療を通じて、加齢に伴う健康課題の移り変わりや女性の診療に対する配慮を身につけましょう。妊婦への対処も学べますし、手術も多く外科的手技も向上します。

小児科

小児科研修を行うことで、一般の小児診療に必要な子どもの診察、手技、検査、治療、そして子どもや家族への接し方、さらに各専門分野についても学ぶことが可能です。

麻酔科

手術の麻酔管理を通じて、循環、呼吸、疼痛、全身の管理に携わります。麻酔専門医からさらに、救急、集中治療、ペインクリニック、緩和へと我々の知識と技能は広がっていきます。

消化器・総合、乳腺・内分泌外科

ダイナミックかつ繊細な手術手技やチーム医療、高い専門性だけでなく日々の診療に役立つ総合力を養います。消化器外科と乳腺甲状腺外科のスペシャリストを目指しましょう！

心臓血管外科

集中力、判断力、冷静さを要求されるやりがいのある診療科です。弁膜症、冠動脈疾患、胸部大動脈瘤などを低侵襲のカテーテル治療から開胸手術まで数多く研修できます。

呼吸器外科

肺、縦隔腫瘍、胸壁疾患等に対し最先端、低侵襲な完全胸腔鏡下肺区域切除から胸膜肺全摘のような拡大切除術まで非常に豊富な症例を経験できます。

整形外科

1) 実力のある整形外科臨床医の輩出、
2) 世界レベルの研究成果の発信、
3) 明るく活気のある教室づくり、
が当教室の3大モットーです。スポーツ医療にも力を入れています！

脳神経外科

全身合併症や救急対応の経験から迅速正確な判断と行動できる能力を若手のうちに習得していきます。また、脳神経外科疾患を通して脳機能について学びます。

眼科

外来・病棟・手術のあらゆる臨床現場を経験できます。眼科臨床の基礎を学んで一級の眼科臨床医を目指しましょう。

皮膚科

全国平均よりも多くのベッド数を有しており、多数の症例を経験できます。腫瘍チームとアレルギーチームに分かれて診療を行っており、専門医、指導医による指導環境も充実しています。

形成外科

小耳症などの先天性疾患の治療件数は国内有数で、軟膏や被覆材などを用いた形成外科的処置法を学べます。熱傷、顔面外傷の治療から、高度な縫合技術の習得が可能です。

泌尿器科

診断から治療まで。腫瘍、排尿機能、内分泌、性機能、腎移植、感染症と幅広い診療領域。経尿道的、腹腔鏡、ロボット支援、開腹と多彩な手術。泌尿器科は多くの可能性がある科です。

耳鼻咽喉科

プライマリケアはもちろん、人工内耳手術、頭蓋底を含めた鼻副鼻腔手術、再建を要する頭頸部癌手術など、命と機能を守る耳鼻咽喉科医として専門性の高い臨床力を磨けます！

放射線治療科

高精度放射線治療・IVR治療を学ぶことで、脳腫瘍、頭頸部がん、肺がん、乳がん、子宮頸がん、前立腺がんなど、全身のあらゆる領域のがん治療に精通する実力がつきます。

放射線診断科

MRI、CT、PET、核医学で全身の画像診断をします。研修医は、診断医の指導のもと、自分で読影し、レポート作成ができます。

リハビリテーション科

新生児から超高齢者まで、あらゆる疾病を対象として、人間の環境を総合的に捉えて、障害の予防と治療を専門的に診療できるリハビリテーション科医を育成します。

病理部

北海道各地から収集された病理診断症例は多彩・豊富で、当科の専門である骨軟部腫瘍症例も充実しています。診断経験豊富な指導医のもと、実践的な病理診断医を育成します。

検査部

細菌検査や血液など専門領域を含む検査の実践と生理機能検査技術の習得、さらに、感染症診断と感染制御に関する知識を身につけることができます。

神経再生医療科

神経再生医療科は、「自己骨髄間葉系幹細胞」を用いた再生医療の基礎研究から臨床応用・実用化への展開までもが守備範囲です。一緒に、新しい分野を開拓しませんか！

研修環境

外科研修

ハイブリッド手術室とda Vinci 専用手術室が整備されており、心臓血管外科・脳神経外科・消化器外科・泌尿器科・婦人科・呼吸器外科では、これらを活用した先進手術も研修できます。



救急研修

北海道唯一の「高度救命救急センター」で3次救急の研修ができます。また勤医協中央病院、札幌徳洲会病院、手稲溪仁会病院、市立函館病院で1次・2次救急の研修もできます。



プライマリ・ケア外来研修

大学病院の総合診療科外来では、紹介患者や診断の難しい患者を対象に、指導医つききりの環境で診断推論やコミュニケーション・プレゼンスキルなどを学べます。また地域研修では関連病院の外来で common disease の経験もできます。



レジデント勉強会

研修医が自ら、症例検討会や勉強会を定期的で開催しています。研修医が主体となってテーマや講師を決めることで、より充実した勉強機会になっています。



研修医セミナー

各診療科のエキスパートが毎週クリニカルパルを教えてください。「すぐに診療に役立った」と毎年好評です。



初期臨床研修報告会

2年間の研修を振り返り、印象に残った症例や研修内容を発表します。指導医だけでなく、病院長、コメディカル、学生も参加し、上位3名は表彰されます。



チューター制

すべての研修医に専任のチューターとサブチューターがつかます。研修やキャリア形成などについて気軽に相談できる環境で、より充実した研修を行えます。



ハンズオンセミナー

教科書や動画では身につけることが難しい手技も、指導医がシミュレーターを使ったトレーニングでコツを教えてください。



福利・厚生・処遇



研修医室

個人デスク・電子カルテ・無線LANも整備されています。研修医専用なので、勉強だけではなく、楽しいコミュニケーションスペースです。



研修医専用スペース

2022年に新たに完成します。談話室、シャワー室、仮眠室、面談室、カンファレンス室などが整備されて、研修環境が更に良くなります。



総合情報センター(図書館)

年中24時間利用できます。文献検索はもちろん、DynaMedなどの電子コンテンツも充実しています。



シミュレーションセンター

年中24時間利用できます。手技トレーニングのシミュレータが豊富にあります。



保育所

大学敷地内なので研修の合間に授乳できます。急病の際は、病状に応じて一時保育等に対応します。子育てしながらでも研修しやすい環境です。



ファミリーマート

院内にあります。食料品から生活用品まで、必要な物がそろっています。札幌医大グッズも購入できます。



スターバックス

院内にあります。患者さん、職員だけではなく、お見舞いの方にも人気です。



トレーニングジム

大学の体育館内にあります。さまざまなトレーニングマシンが設置されており、研修医の皆さんも自由に利用できます。

札幌医科大学附属病院の処遇

身分 非常勤

研修手当 給与：14,285円/日 手当：初期臨床研修手当 1,000円/日（住宅支援等）、通勤手当、期末手当

勤務時間 月～金曜 8:45～17:30 原則として時間外勤務なし

休暇 年次有給休暇 10日、夏季休暇 3日、冬季休暇 2日、その他休暇あり

当直 4回まで/月 16,000円/回

研修医が利用可能な施設 仮眠室：あり 宿舎：なし
保育所：あり

社会保険 健康保険・厚生年金保険・雇用保険

健康管理 健康診断 1回/年

医師賠償責任保険 病院において加入するが個人加入を推奨する

外部研修活動 学会・研究会等への参加可

協力型研修病院の処遇

各病院での規定によります。



研修医からのメッセージ

自由度の高い研修プログラム

自分の将来を見据えたローテーションを組めます

たすきがけで市中病院で1年間研修できるだけではなく、大学病院研修中にも市中病院で研修でき、ローテーション選択の幅が広いことも魅力です。

私は大学病院で1年目の研修中で、2年目は市中病院で研修予定です。

札幌医大病院での研修の利点は、第一に自由度が高いことだと思います。大学病院で研修中も市中病院で研修でき、選択できる病院の数も多いので、「この科はこの病院で研修したい!」という希望を叶えられます。また、ローテーションは自由に選択でき、研修の1か月前でも変更できるので、希望に合わせて学びたい科を選択できます。その他にも、将来は大学への所属を考えている場合は、研修中にその科の雰囲気を知ることができるという利点もあります。

私は他県&他大学出身ですが、研修医同士の距離が近く、上級医の先生も熱心に指導していただき、楽しく研修することができました。

他大学出身の方も、ぜひ札幌医大病院で研修してみてください!



徳島大学 卒業
米澤 映里
Aコース

研修プログラムの魅力

自分の希望に合わせて研修できます

市中病院・大学病院・地域の診療所で研修することで様々な症例を経験し、各医療機関の役割と重要性を知って、自分の将来を考えることができました。

1年目は市中病院の主に内科系診療科や救急科で、経験が求められるcommon diseaseを中心に多数の症例を研修しました。2年目は大学病院の外科系診療科を中心に、大学病院ならではの疾患や手術を経験しました。

私は他大学出身で地元も遠く離れていますが、そんな私にも札幌医大病院は多くの症例を経験させてくれて、丁寧な指導と実践的なアドバイスを受けられました。地域研修は札幌市内から離島まで、道内各地に協力施設があります。私は利尻島で研修しフェリー一搬送や航空搬送に加えて、利尻ならではの貴重な経験も楽しみながらできました。

他にも札幌医大病院の研修の良いところは、ローテーション変更が1か月前でも可能だったり、とにかく手厚くサポートしてくれるところです。

研修先を迷っている学生の皆さん、1度見学に来て札幌医大病院の魅力を感じてください。



久留米大学 卒業
金高 弘典
Bコース

将来を見据えた研修

フレキシブルなローテーションで最高の研修が実現可能です

専門性の高い症例からcommonな症例まで幅広く経験でき、ローテーション変更が何度でも可能なので、あなただけの最高の研修をコーディネートできます。

私は子育て中で、札幌医大への所属を決めていたこともあり、落ち着いた環境でじっくり研修したいと考え、大学病院で2年研修するCコースにしました。大学病院は専門性が高く症例が偏っていると思われるがちですが、市中病院での短期研修も可能で、commonな症例から専門性の高い症例まで幅広く経験できます。

また、学生時代の診療科に対する印象と研修医として働いてからの印象は必ずしも一致せず、学生時代には全く考えなかった科に興味を湧くことも少なくありません。そこで将来に悩み揺れ動くことがありますが、札幌医大病院はその度に何度でもローテーション変更可能なので、その時の自分にとって最高の研修をコーディネートできる体制になっています。

出身大学や年次を問わず研修医同士とても仲が良く、研修医室で他愛のない話で盛り上がることも、毎日の楽しみの一つです。

札幌医大病院の研修はお勧めです!ぜひ1度ご検討ください!



札幌医科大学 卒業
赤澤 史子
Cコース

専門研修・後期研修

研修内容

各領域または診療科のプログラムに基づき、診療に従事しながら研修を行います。

応募資格

医師免許を持ち、初期臨床研修を修了した方。

身分等

専門研修・後期研修のいずれでも診療医としての身分保障、給与、健康保険等があります。
また、一般病院での診療支援も可能です。

応募

専門研修は、専門医機構の応募スケジュールに従って、専攻医を募集する予定です。
後期研修は随時受け付けています。

詳しくは、当センターホームページをご覧ください。

▶ <http://web.sapmed.ac.jp/byoin/center/index.html>

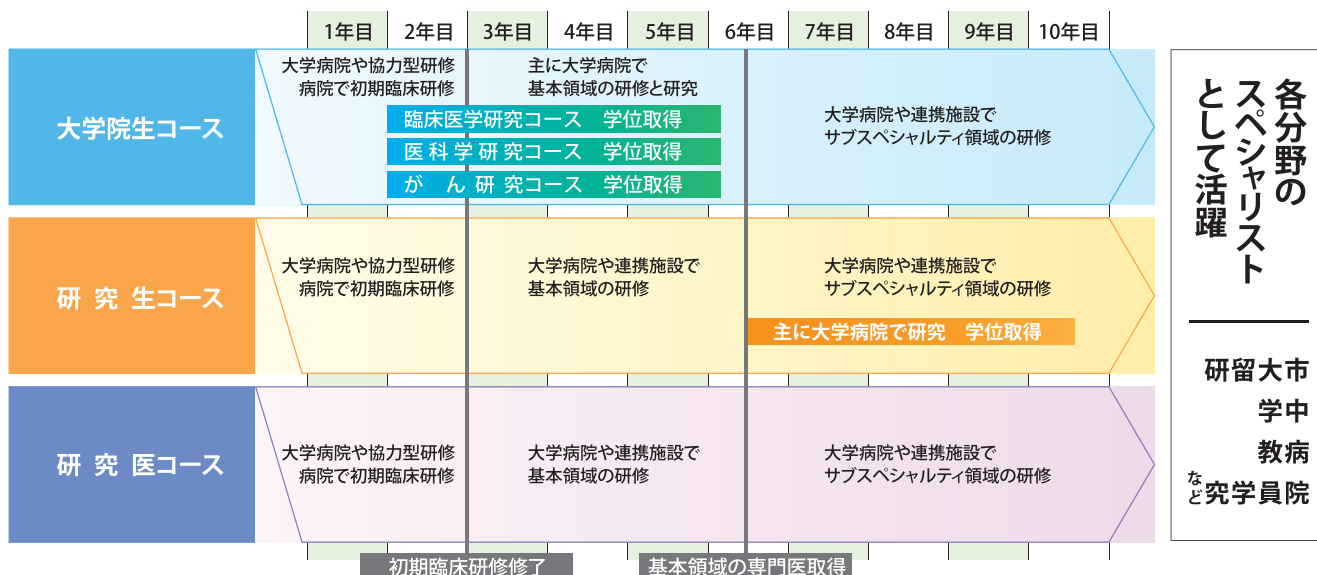


札幌医科大学附属病院で取得できる認定医・専門医資格

基本領域専門医	サブスペシャルティ領域専門医	サブスペシャルティ領域専門医	学会認定医・専門医
内科専門医	消化器内科専門医	乳腺専門医	婦人科腫瘍専門医
小児科専門医	循環器内科専門医	内分泌外科専門医	生殖医療専門医
皮膚科専門医	呼吸器内科専門医	放射線診断専門医	性機能専門医
精神科専門医	血液内科専門医	放射線治療専門医	頭頸部がん専門医
外科専門医	内分泌代謝内科専門医	学会認定医・専門医	インターベンショナルラジオロジー専門医
整形外科専門医	糖尿病内科専門医	心血管インターベンション認定医	核医学専門医
産婦人科専門医	脳神経内科専門医	超音波専門医	細胞診専門医
眼科専門医	腎臓内科専門医	透析専門医	集中治療専門医
耳鼻科専門医	膠原病・リウマチ内科専門医	気管支鏡専門医	熱傷専門医
泌尿器科専門医	アレルギー専門医	小児神経専門医	家庭医療専門医
脳神経外科専門医	感染症専門医	小児血液専門医	Infection Control Doctor
放射線科専門医	老年科専門医	老年精神専門医	がん専門医
麻酔科専門医	腫瘍内科専門医	肝胆膵外科高度技能専門医	
病理専門医	肝臓内科専門医	内視鏡外科技術認定医	
臨床検査専門医	消化器内視鏡専門医	大腸肛門病専門医	
救急科専門医	消化器外科専門医	手外科専門医	
形成外科専門医	呼吸器外科専門医	脊椎脊髓外科専門医	
リハビリテーション科専門医	心臓血管外科専門医	スポーツ医	
総合診療専門医	小児外科専門医	周産期専門医	



- 札幌医科大学附属病院では、初期臨床研修終了後に引き続き専門研修や後期研修を行うことで、専門医や学位(博士号)のスムーズな取得が可能です。
- 専門研修は、専門研修プログラムの専攻医となって、専門とする領域の研修を行います。
- 後期研修は、大学院生コース、研究生コース、研究医コースの3つのコースがあります。



※ 内科系と外科系診療科では、基本領域の専門医(内科専門医、外科専門医)を取得した上で、さらにサブスペシャリティ領域の専門医(消化器病専門医、循環器専門医、など)の取得を目指すことが一般的です。

大学院生コース

札幌医科大学大学院医学研究科では、生命倫理から再生医療まで幅広い分野の専門家を揃えて指導にあたっています。大学院は、幅広い基礎知識を涵養しながら研究を行い、科学的・客観的・論理的考え方を身につけることを目的としています。大学院は、研究の素晴らしさを体験し、地域にそして世界に飛躍する第一歩となることでしょう。

大学院博士課程には医学部在学中に入学する MD-PhD コースと医学部卒業後(卒後の年数は問わない)に入学する臨床医学研究コース、医科学研究コースがあります。博士課程修了には、4年間の在学(特に優れた研究業績がある場合には3年間)、授業科目30単位以上の修得、学位論文の提出とその審査に合格することが要件となっています。臨床医学研究コースは初期臨床研修2年次に入学し、臨床研修を主体としつつ、平日17:30以降に大学院の講義・研究指導を受けたり、eラーニングで受講することも可能です。この場合は、臨床研修を札幌医科大学附属病院あるいは大学院医学研究科長が委嘱した臨床教授、臨床准教授、臨床講師が在職する研修病院で行う必要があります。

詳しくは、本学ホームページをご覧ください。▶ <http://web.sapmed.ac.jp/index.html>



研究生コース

札幌医科大学の臨床医学講座では、臨床と並行して優れた研究活動を行っています。研究生コースでは、研究の一端を担うことにより、大学院に入学しなくても、所定の語学試験に合格し、専門研修・後期研修中に各講座で研究を担い、一定の研究期間(研究歴)を経て、研究論文が学位審査に合格することにより、学位(博士号)を取得できます。臨床と並行しながら研究を行うことで学位を取得できますが、一般的にその期間は大学院生コースよりも長くなります。一方で各領域の専門医取得には遅滞がありません。

研究医コース

専門医は、一人前の臨床医として診療するための必須要件となりつつあります。研究医コースでは、専門医の取得を目指して臨床に特化した研修を行うことができます。専門医取得には一定の研究業績(学会・論文・セミナー受講)等が求められますが、札幌医科大学附属病院はさまざまな専門研修プログラムの基幹施設であるだけでなく、臨床と並行してこれらの研究活動を行うことができるので専門医取得に非常に有利です。学位(博士号)は取得できませんが、途中でコースを変更して学位取得を目指すことも可能です。

臨床研修に関する Q&A

Q. 札幌医科大学出身者と対応が違うのではないかと不安です。

A. ご安心ください。そういったことは全くありません。当パンフレットには他大学出身の研修医からのメッセージも掲載しておりますのでご参照ください。

Q. 願書に希望コース記入欄がありますが、これで決定してしまうのでしょうか？

A. 願書では決定しません。マッチング決定後11月頃に行う希望調査により決定します。

Q. 「たすきがけ」病院（協力型研修病院）はどのように決まりますか？

A. マッチング決定後11月頃に行う希望調査により決定します。「たすきがけ」病院の受入枠を超える希望があった場合は、マッチング登録順位の上位者から順に「たすきがけ」病院を決定していきます。第1希望での確定率は85～90%となっており、皆さんが希望する病院で研修できます。

Q. ローテーションはどのように決まりますか？決定後は変更できないのでしょうか？

A. 前年にローテーション希望調査を行い、各病院で調整して12月に決定します。なお、札幌医科大学附属病院での研修中は、決定後もローテーションの変更が可能です。



Q. 大学病院は3次救急しか対応していませんが、1次・2次救急の研修はできますか？

A. Aコース・Bコースは「たすきがけ」病院（協力型研修病院）で、Cコースは救急研修施設で、1次・2次救急を研修できます。さらに札幌医科大学附属病院で3次救急の研修を行うことで、1次から3次まで全ての救急研修が可能です。

Q. 大学病院は手技をあまり経験できないのでは？

A. 大学病院は診療科も患者数も多く、手技を行う機会は豊富にあります。指導医も多数いるので、指導を受けながら安心して手技を経験できます。

Q. アルバイトは可能でしょうか？

A. 医師法で「臨床研修を受ける医師は、臨床研修に専念し」と規定されており、臨床研修中のアルバイトは禁止されています。

2022年度 臨床研修医募集要項

募集プログラム・定員 (変更になる場合があります)	札幌医科大学附属病院卒後臨床研修標準プログラム 34名 札幌医科大学附属病院卒後臨床研修小児科プログラム 2名 札幌医科大学附属病院卒後臨床研修産婦人科プログラム 2名
研修期間	2022年4月1日から2024年3月31日までの2年間
研修コースと協力型 病院の選択	それぞれのプログラムの中で、どの研修コースを選ぶか、どの協力型病院を選ぶかは医師臨床研修マッチング決定後に、本人の希望に基づき決定されます。
応募資格	第116回医師国家試験の受験予定者、医師臨床研修マッチングに参加する者。2004年度から2020年度の医師国家試験合格者でマッチングに参加しなかった者、及びいずれの病院においても医師臨床研修を開始しなかった者。
出願方法	下記の応募書類を提出してください。 (1) 札幌医科大学附属病院臨床研修医願書 (選考方法と日時を個別に連絡するため、メールアドレスを必ず記入してください。) (2) 卒業(見込)証明書 (3) 成績証明書 (4) 共用試験(CBT)成績表の写し ※(2)・(3)について札幌医科大学医学部卒業(見込)の方は提出不要
出願期間	①2021年6月1日(火)から7月30日(金)まで※必着 ②2021年6月1日(火)から8月6日(金)まで※必着
出願書類提出先	下記へ郵送または持参により提出してください。 〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目 札幌医科大学附属病院 病院課 臨床研修係 ※郵送の場合は、封筒の表面に「研修医願書在中」と記入してください。
選考方法	面接等により研修管理評価委員会が評価を行い、採用希望順位を病院長が決定します。

選考日	①2021年8月13日(金) ②2021年8月20日(金)
選考方法	面接試験
試験会場	札幌市中央区南1条西17丁目 札幌医科大学 (具体的な時間と場所はメールにて個別に連絡します)

病院見学について

札幌医科大学附属病院では、医学生の方の見学・実習を歓迎します。
ご希望に沿えるように日程を調整しますので、お気軽にお問い合わせください。
また、Webによる個別説明会も実施しますので、ご希望の際はお問い合わせください。

見学期間	半日から数日間まで、ご希望に応じます。ただし、平日のみとなります。
対象	医学生(何年生でも歓迎します)
申し込み	以下を記入して、下記のメールアドレスまで送ってください。 ①お名前(フリガナ) ②性別 ③所属大学(学年) ④出身地 ⑤見学希望診療科 ⑥見学希望日時 ⑦連絡先(電話番号) ⑧メールアドレス ⑨その他(希望・質問等)
メールアドレス	kenshu@sapmed.ac.jp
各診療科の案内	https://web.sapmed.ac.jp/hospital/section/index.html ※日程の調整に時間を要することがありますので、余裕をもってご連絡ください。 ※パソコンのメールアドレスをお持ちの方は、できるだけパソコンのメールアドレスからご連絡ください。





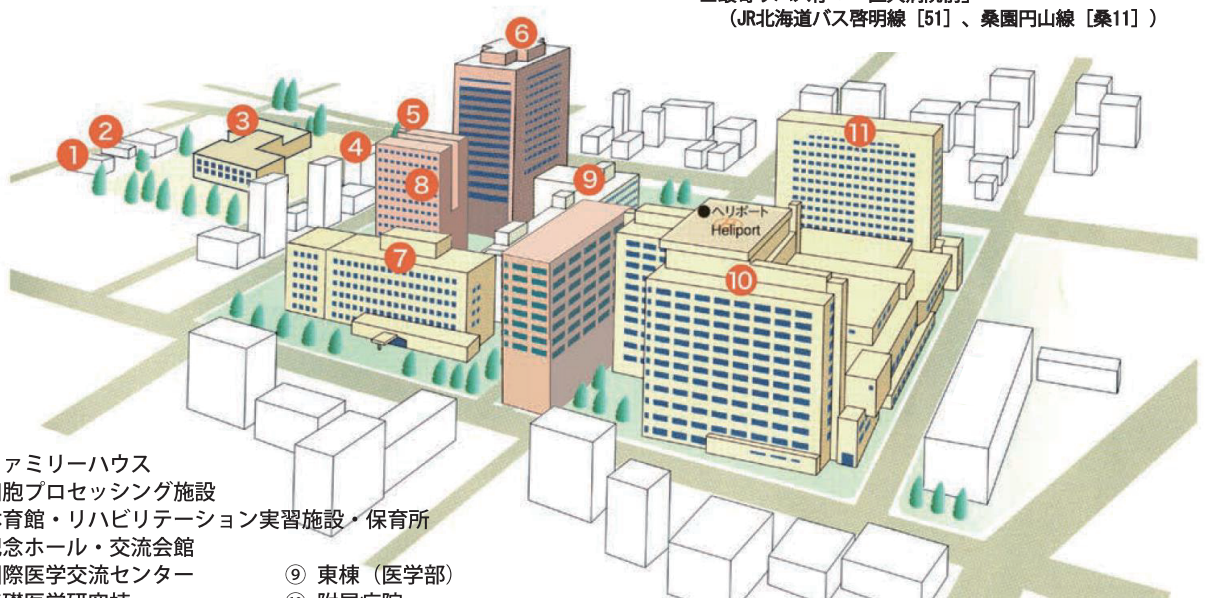
アクセス



新千歳空港よりJR（快速）で36分



Access: ■地下鉄東西線「西18丁目駅」下車、6番出口徒歩5分
 ■市電「西15丁目」停留所徒歩5分
 ■最寄りバス停：「医大病院前」
 (JR北海道バス啓明線 [5i]、桑園円山線 [桑11])



- ① ファミリーハウス
- ② 細胞プロセッシング施設
- ③ 体育館・リハビリテーション実習施設・保育所
- ④ 記念ホール・交流会館
- ⑤ 国際医学交流センター
- ⑥ 基礎医学研究棟
- ⑦ 保健医療学研究棟
- ⑧ 教育研究棟
- ⑨ 東棟（医学部）
- ⑩ 附属病院
- ⑪ 臨床教育研究棟

北海道公立大学法人 札幌医科大学附属病院 臨床研修・医師キャリア支援センター
 〒060-8543 札幌市中央区南1条西16丁目 TEL 011-688-9486 (直通) FAX 011-621-8059

詳細はホームページで <http://web.sapmed.ac.jp/byoin/center/index.html>

お問い合わせ・資料請求はメールで kenshu@sapmed.ac.jp

